

## 地球にも人間にもやさしく

### 富士宮市内小学校

#### 深谷さん

私は、植物や動物等の自然の生き物が大好きで、小さい頃から栽培や飼育をして、生き物の形や仕組み、成長の様子を観察してきました。しかし、四年生の総合の授業で地球温暖化の学習をした際に、私たち人間の活動によって、地球の自然が危険にさらされていることを知りました。そして、(私たちのせいで、ひどい被害が起きているなんて...)と、とても衝撃を受け、恐くなってしまいました。それから、(地球を守らなければ...)と強く思うようになりました。その時から、私は自分で『地球を守るためのプロジェクト』を考え、一人でコツコツと活動を進めています。

始めは、節電、節水に努めました。使わない時は消す・止めるを心がけていたので、家族の皆も段々と意識が強くなり、定着していると思います。次に、給食で牛乳を飲む際には、ストローを使わずに飲むことにしました。私がそのように飲んでいると、

「たしかに！」

と言って、クラスでもストローを使わない子が増えました。それから、

私が取り組み始めたことは、生ごみを減らすことです。生ごみの焼却によって出る二酸化炭素の排出が、地球温暖化を加速させているということを知ったからです。生ごみを減らすために私が取り組んだことは、生ごみを土壌微生物に分解してもらおうということです。実際に母に協力してもらい、生ごみを捨てずに土に混ぜ、発酵させる実験もしました。すると、生ごみを分解した土はふかふかで、野菜を育てると発芽率や成長率、鮮度も高いことが分かったのです。地球の土壌が劣化しているという記事を読んだことがあったので、生ごみを分解した土が健康だと証明できれば、土壌の劣化も防げるかもしれないと思っています。しかも、そのような健康な土で栽培した野菜の栄養価が高ければ、人間の身体も健康になると思うのです。地球温暖化や土壌の劣化を防ぎ、人間の身体も健康にできる『地球にも人間にもやさしいプロジェクト』です。今私が抱いている野望は、様々な地域で生ごみを回収し、土壌生物に分解してもらった健康な土を地元の農家さんに分配し、農薬を使わずに元気な野菜を栽培してもらい、それを地元の人が食べ、また生ごみを回収する...という循環型システムです。このシステムを実現するために、私は今、土壌作りに欠かせないミミズを採集したり、どのような土だと生ごみを効率よく分解できるのかを研究したりしています。

私のこの活動は、孤独で地味なものかもしれませんが。しかし、失敗を恐れずに沢山挑戦していきたいです。私のこの取り組みが、学校の友達や地域の人々、まだ会ったことのない人達にも少しずつ広がり、

『地球を守ろうとする人』が増えてくれたら嬉しいです。それが、明るい未来につながると信じています。